

## Topic 1

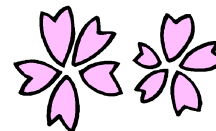
## ◇今春入試合格体験記 第2弾 合格者喜びの声

### 板垣 洋平さん

■合格大学：国立 新潟大学 法学部 法律学科

■学校名：県立熊谷高校

■校舎名：行田中央校



#### ● 合格を手にしたの感想

まずは現役で国立大学に合格することができて、本当にうれしいです。中学生の時から決して優秀な成績をとっているわけではなく、勉強が嫌になることもありましたが、地道に努力を継続できた結果、合格することができたのだと思っています。

#### ● 大学・学部を選んだきっかけは？

国立大学を選んだのは、偏った科目ではなくどの科目も満遍なく勉強したいと思ったからです。5教科7科目の勉強をしていくことには、困難が伴いましたが、理系科目の数学や理科も勉強したことは決して無駄にはならないと思っています。

#### ● 俊英館に入塾して良かったところは？

映像授業の受講システムがシンプルなので、部活が忙しくても融通が利いて、受講し続けることができました。また、自習室には、多くの参考書や問題集があり、無料で貸し出ししていたので、そちらも活用していました。

特に、現代文の授業は、まさに「目からウロコ」でした。現代文に対する取り組み方が変わり、センター試験では全科目で一番良い点を取ることができました。

#### ● 後輩へのアドバイス

1・2年のうちに絶対やっておくべきことは、英単語です。私は学校の小テストのために覚える必要がありましたが、それだけでは不十分で、自ら反復することが重要です。個人的な話ですが、私は2年から吹奏楽部で部長を務めていました。部長としての仕事はかなり忙しかったのですが、心のどこかで「勉強しなければ」と思うことで、全く勉強しない日を自然となくすことができました。本当に少しでもいいです。必ず毎日の勉強を続けてください。

受験期の勉強では、大失敗しました。3年の夏休みに数Ⅰ・Aの偏差値が65を超えたので、以後遅れていた数Ⅱ・Bばかりやっていたのですが、結局数Ⅱ・Bの成績が上がりきらず、逆に数Ⅰ・Aの成績がセンター直前に急降下してしまうという状態で、本番を迎えることになってしまいました。得意科目でも気を抜かず、少しずつでも手をつけておくべきでした。

センターでは、予定よりも点数が取れず、私立入試でも振るわなかったため、焦りが募りましたが、国立二次試験で逆転合格することができました(二次試験の配点の比較的高い新潟大学に志望変更をしたのが功を奏しました)。最後まで何が起るかわかりません。ぜひ最後まであきらめずに頑張ってください。

## ◇新高1生必読！ 大学受験の計は高1にあり

4月になり新学期が始まります。皆さんフレッシュな気持ちで新しい学年をスタートさせることと思います。この時期に（特に高1の皆さんから）よく質問されることに「学校の予習の仕方は？」というものがあります。学校によって、教科担当の先生によって、指示内容がまちまちであったり、指導に熱心な先生が自らの担当教科の勉強を強く勧めるなど、悩ましい問題も潜んでいます。

すべての科目の予習も復習も行うことが理想ですが、現実的には難しいでしょう。全教科について、予習も復習もしなくてはいけないとあせらなくても大丈夫！効率よく、全体的な成績を上げるためには、**教科・科目の特性をとらえて、予習・復習の重点を変える**ことが得策です。

### ◇定期テスト前の勉強だけで良い科目 = 社会(現代社会・地理など), 現代文

知識を詰め込むタイプの科目は、予習は要りません。定期テスト前に集中して暗記を行いましょう。課題プリントがある場合は、それだけはしっかり行いましょう。定期テスト前だけだと暗記が追いつかないという不安がある人は「授業前の休み時間に前回の授業内容を、ノートを見ながら思い出して暗記する」のが良いでしょう。これらの科目は、授業ノートのとり方がポイントです。定期テスト前に復習しやすいノートになるよう、工夫してまとめましょう（東大に合格する生徒のノートは美しいそうです）。

### ◇復習中心の勉強で良い科目 = 数学, 理科(物理・化学)

問題を解くことが中心の科目は、復習中心で大丈夫です。授業で理解したことを問題演習に活かして「実際に問題が解けるかどうか？」がポイントになります。授業を受けた後に、学校の問題集をどんどん解きましょう。問題を解いた分だけ、成績が上がると考えてください。予習しないで授業に臨むと全く理解できないという科目であれば予習もしましょう。予習で大事なものは公式の「暗記」ではなく、公式の「理解」です。この公式はどういうことを意味しているのか、どのようにその公式が導かれるのかを「考えること」が予習です。

数学は問題を解くことが中心の科目なので、その意味では復習中心でよいのですが、現実的には「予習せずに授業に臨むと全く理解できない」可能性が大きいので、予習中心の勉強をすることをお勧めします。

### ◇絶対予習が必要な科目 = 英語(文法・読解), 古文, 漢文

辞書を使用する科目は絶対予習が必要です。もしこれらの科目を予習しないで授業に臨んだら、予習をしたときに得られる理解度・知識の定着度で雲泥の差がつきます。予習を欠かさず行いましょう（ただし、私立理系の一般受験しか考えていないという人は、古文・漢文の予習はしなくても良いでしょう）。予習ノートは授業で書き込むことを前提にスペースを多めにとってください。また、予習ノートに単語・熟語の暗記スペースを作るとテスト勉強のときに役立ちます。

**【例】英文読解の予習ノートであれば、左ページの左端に分からない単語を書くスペースをとり、右ページの右端にその単語の意味を書くスペースをとると「単語帳」のできあがりです。**

中学時代に優秀だった生徒が大学受験に失敗するケースのほとんどが、高1時代の「英文法」をおろそかにした人です。**高3になったときに英語が苦手な人は、その克服に莫大な時間が費やさなければなりません。**逆に、高1で「英文法」をきちんとマスターしておくと、高2、高3と本当に楽ができますよ。

# ◇ 大学入試を基礎から知る

## 第11回 <私立大一般入試のポイントはこれ！>

私立大のほとんどは、複数の入試方式や制度、日程を用意しており、何校でも受験できる点が特徴だ。入試は、2月上旬から中旬をピークとして、3月中旬まで行われる。この間、志望度が高い大学は2月の独自方式でチャレンジし、センター利用方式で併願日程を組み、3月はリベンジを狙う、というのが一般的な受験生の動向だ。

### ■ 特徴的な制度

**[試験日自由選択]** 試験日が2~3日連続して設けられていて、その中から受ける日を自由に選択できる。

**[学部共通日程]** 全学部や複数学部の入試が、同じ日に共通問題で行われる。1回の受験で複数の学部にも併願できる大学もある。

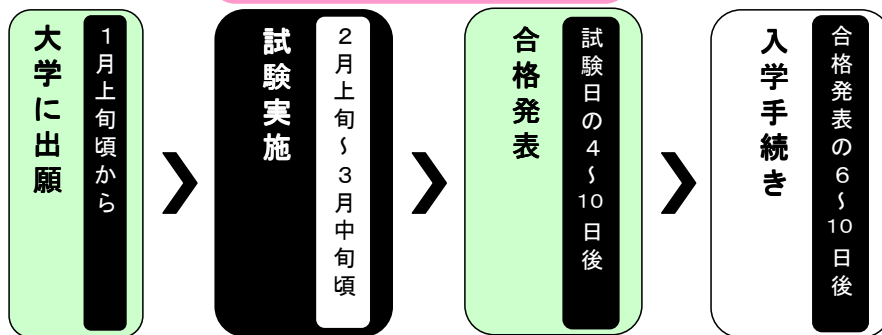
**[奨学生入試]** 入試で成績上位に入ると授業料などが減免される。減免額は「1年次の授業料全額や半額」や「4年間の授業全額」など様々。

**[ネット出願]** 導入大学が増えている。大学のホームページで全ての出願手続きが完了する場合や、必要書類は郵送だが出願エントリーはネットで完了する場合など、大学によって様々。

**[受験料割引]** 同じ大学内で複数出願すると、受験料が割引される。「1学科出願は3万円で、2学科併願すると5万円」など。ネット出願導入校では、ネットで出願すると割引されることもある。

### ■ 2015年度入試 私立大一般入試のおもなスケジュール

#### 独自方式



#### センター利用方式

